

2019年 第44回
全国公募写真展

視点



谷口 互「辺野古で今」(2018視点賞)



本郷 浩「望郷」(2018奨励賞)



高橋美保「踏み分け入れば...」(2018入選)



王 一銘「希望、見えましたか?」(2018準ヤング賞)



中澤ふみ子「GINZA SPOT」(2018入選)



加藤真希「夏休み」(2018優秀賞)



中島英吉「挑戦者たち」(2018入選)



江幡美英江「山の民」(2018入選)

作品募集

テーマ、内容は自由

単写真または最大8枚までの組写真
(ヤング部門は5枚以下)

写真サイズ A4または六切のプリント
応募資格に詳しいの制限はありません

送付受付 2月10日(日) ~ 3月1日(金)

持参受付 2月22日(金) ~ 3月1日(金)

展示: 東京都美術館(上野公園内)

会期: 6月6日(木) ~ 6月13日(木)

巡回展: 浜松、名古屋、仙台、三重、大阪など

ヤング部門 あります

視点賞	1名	土門拳揮毫「視点」額 (賞状と賞金30万円)
奨励賞	3名	(賞状と賞金10万円)
優秀賞	7名	(賞状と賞金3万円)
特選	10名	(賞状と賞金1万円)
ヤング賞	1名	(賞状と賞金5万円)
準ヤング賞	3名	(賞状と賞金1万円)

問い合わせ先 (13:00 ~ 18:00)

主催 日本リアリズム写真集団(JRP)/ 2019「視点」委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12沢登ビル6F

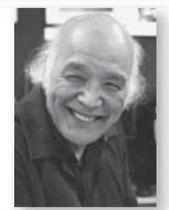
TEL:03-3355-1461 FAX:03-3355-1462 http://www.jrp.gr.jp Email: jrp@jrp.gr.jp



中村 征夫 なかむら せいお

1945年秋田県湯上市生まれ。独学でダイビングと水中写真を学ぶ。東京湾をライフワークに取材を重ね、現在も進行中。水中撮影の分野で活動する一っぽう、講演、出版、テレビ、ラジオなどを通して海の魅力と環境問題を伝える。第13回木村伊兵衛写真賞、第26回土門拳賞、2007年日本写真協会年度賞などを受賞。おもな著書に「ルポルタージュ全・東京湾」写真集「海中顔面博覧会」、「遙かなるグルクン」などがある。

このたび、「視点」展の選考委員として、参加することになりました。写真の題材は、巷に無限に広がっていますが、心の琴線に触れる瞬間は各々違うと思われます。自分にとっては心に響くシーンでも、他人は無反応ということがよくあります。だから写真は多様で面白い。「視点」展は、まさに己の人生を表現する場であるとも言えるでしょう。自分の視点を信じ、思いを込めて撮られた多くの力作に出会いたいと思います。



金瀬 胖 かなせ ひろのぶ

1944年千葉県生まれ。主な関心事は産業社会の風景と音楽家。写真集「ZONE」、『EXPOSED 東海村感光録』、『浦廻』、『路上の伝記』ほか。写真展多数。写真の会賞など受賞。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所教務主任。

いま感じること。ヒトラーの後継ぎが次々と生まれる怪しい土壌。路上で子供を撮るときに背後に感じる視線、おあらかさが消えた冷たい空気。その空気の中に子供はいるのだ。この土壌と空気を少しでも変えるだけの写真はしたら撮れるだろうか。写真の自由と子供の自由、すべての対象の自由は同じ。写真は一枚ごとに自ら開く自由への扉。



英伸三 えびのぶ しのぶ

1936年千葉市生まれ。農村問題などを通して日本社会の姿を追い続け、1992年から中国の改革開放政策による変貌を追っている。伊奈信男賞など受賞。写真集「一所懸命の時代」など多数。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所所長。

写真を撮る場合、どんな対象や事柄であっても、強い関心を持って観察を深めていけば、ドキリとするような面白い瞬間や感動的な場面に出会えるものです。正面からしっかり対象にぶつかって捉えた写真は、きっと人の心を打つものがあるはず。できれば誰も撮っていない手付かずのテーマに挑戦した力作をお願いします。



中村 梧郎 なかむら くるお

フォトジャーナリスト、元・岐阜大学地域科学部教授、元・ニコニ第8回伊奈信男賞、2007年ニューヨークでMAGNUM創立60周年招待「ORANGE」展。著書に「新版・母は枯葉剤を浴びた」、「写真で何ができるか」(共著)『環境百禍』。JPS会友、日本ジャーナリスト会議代表委員、JRP代表理事。

人は行く先々でたくさんの光景に出会います。モノのありように驚いたり見します。そのときに感ずる「カワイイ」とか「すごい」といった感覚は容易に写真にすることができます。視点を鋭くすれば「けしからん」さえも画像にできます。風景も社会も変化・流動している日本です。その場でひらめく自分のセンスに自信を持って、みごとな作品にしてください。



尾辻 弥寿雄 おつじ やすお

1945年長崎市生まれ。横浜市在住。写真集「長崎・照射の夏(平和のアトリエ)」、「鎌倉景(現代写真研究所出版局)」、「パリ漫歩景(現代写真研究所出版局)」。写真展「長崎 照射する夏」鎌倉景「パリの街角」など多数。JPS会員、JRP代表理事、現代写真研究所運営委員長。

“スマホ”が撮影機材として立派に機能する現代、写真が日常生活の中で急激にその野を広げ、あらゆる場面でカメラの存在を誇示しています。世界中の人や街や社会そして自然が記録される時代、写真はジャンルを超え人々の喜怒哀楽の世界を作り出しています。視点展はその世界を一堂に展示することを目指しています。その中にぜひあなたの作品を加えてください。精力的な応募を期待します。

2019
選考委員

2019「視点」応募カード

整理番号 _____

ふりがな ヤング部門
共同制作
氏名 _____ (_____ 歳) 他名 _____

〒 _____ 都道府県 _____

住所 _____

自宅電話 _____ FAX _____

携帯電話 _____

メールアドレス _____

ヤング部門、共同制作の方は にチェックを記入ください。

No.	をつけてください	題名 (必要ならふりがな)	枚数	応募料 (円)
1	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
2	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
3	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
4	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
5	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
6	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
7	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		
8	単 カラー			
	組 モノクロ	撮影地 _____ 撮影年 _____		

小計				
事務手数料				1,300
返送希望	廃棄希望	(_____ をつけてください)	応募作品返送料	2,000 円
合計				

登録データは個人情報保護法に基づいて管理します。 振込日 _____ / _____

2019「視点」作品票

題名 _____

単 _____ 組 _____ 枚のうちNo. _____

説明欄 (必要な場合) _____

写真の上に出るように 整理番号 この欄には記入しないでください

氏名は写真の下に隠れるように貼る 氏名 _____

両面テープ貼りしろ

2019「視点」作品票

題名 _____

単 _____ 組 _____ 枚のうちNo. _____

説明欄 (必要な場合) _____

写真の上に出るように 整理番号 この欄には記入しないでください

氏名は写真の下に隠れるように貼る 氏名 _____

両面テープ貼りしろ

2019「視点」作品票

題名 _____

単 _____ 組 _____ 枚のうちNo. _____

説明欄 (必要な場合) _____

写真の上に出るように 整理番号 この欄には記入しないでください

氏名は写真の下に隠れるように貼る 氏名 _____

両面テープ貼りしろ

2019「視点」作品票

題名 _____

単 _____ 組 _____ 枚のうちNo. _____

説明欄 (必要な場合) _____

写真の上に出るように 整理番号 この欄には記入しないでください

氏名は写真の下に隠れるように貼る 氏名 _____

両面テープ貼りしろ

〒160 - 0004
東京都新宿区四谷3 - 12 沢登ビル6F
日本リアリズム写真集団 /
2019「視点」委員会 御中
写真在中 禁二つ折

このラベルは郵送の際 封筒の表に張り付けてご利用下さい。

2019年 応募規定

応募部門
一般部門：年齢は問いません。
ヤング部門：応募時で30歳以下。ヤング部門の にチェックを入れ、年齢を記入して下さい。
チェックがないものは、年齢が30歳以下でも一般の応募とします。
共同作品：共同作品の にチェックを入れ、人数を記入して下さい。

各部門を同時に別作品で応募される場合は、別々の応募カードを作成して下さい。同一作品で重複応募することはできません。
他のコンテストとの重複応募について当会は制限しませんが、他の応募規定をご確認下さい。
入選の場合は応募作品が展示見本、写真集の印刷原稿となります。データサイズや色表現にご注意下さい。

応募サイズ A4または六つ切りプリント(余白可)
応募枚数
単写真、組写真とも、何作品、何枚でも応募できます。ただし、組写真は、一般部門：1作品8枚以内、ヤング部門：1作品5枚以内。
写真は台紙に貼り付けたり、つないだりしないで下さい。

応募料
一般部門・共同作品：単写真、組写真とも1枚につき1,500円。
ヤング部門：単写真、組写真とも1枚につき500円。
事務手数料 応募者1人につき1,300円。

応募作品の返送料 返送希望は、1人につき2,000円。返送希望されない場合は破棄します。
但し、視点賞から特選まで、及びヤング賞、準ヤング賞の応募作品は返却いたしません。(該当作のみ応募の場合、返送料はご返金いたします)
その後の「視点」活動に活用させていただきます。それ以外の作品は返送いたします。

応募期日 / 方法
応募カードと作品票を記入し、作品票は1枚ごとに両面テープで貼り付け、足りない場合はコピーしてお使い下さい。
送付：2月10日(日)～3月1日(金) 応募カード・作品を同封の上、郵便書留または宅配便で送付して下さい。(消印有効)
持参：2月22日(金)～3月1日(金)13:00～18:00までに視点事務局へ。(土日可)

応募料：応募料、事務手数料、返送料の合計を送金先口座にお振込下さい。応募カードの一番下に、振込日を記入してください。
応募作品への切手、現金、為替の同封は絶対におやめ下さい。また、応募作品持参の場合も現金の取扱はいたしませんので、

口座へのお振込をお願いいたします。
送金先
郵便振替口座：口座記号番号 00110-1-101607 加入者名：日本リアリズム写真集団
ゆうちょ銀行： 一九(ゼロイチキユウ)店 当座預金 0101607 口座名：日本リアリズム写真集団
三菱東京UFJ銀行・四谷支店：普通預金 4362317 口座名：日本リアリズム写真集団
みずほ銀行・麹町支店：普通預金 1168189 口座名：日本リアリズム写真集団
選考結果 4月15日(月)全応募者に郵送で通知します。電話での回答はできません。

出品料 入賞・入選作の展示には出品料が必要となります。
単写真、組写真とも、1枚4,500円、2枚目から1枚につき2,500円。(別途制作費が必要になります)
展示作品の制作
入賞・入選者に送付される制作指示票に基づいてA3～A2サイズのマット付き木製パネルを制作していただきます。
著作権 作者に帰属しますが、「視点」展と写真集「視点」に関する広報・宣伝(Webサイトを含む)に使用させていただきます。

応募作品は肖像権・著作権に抵触しないようご注意ください。万が一問題が生じた場合、当会は責任を負いません。
入選発表後の出品辞退はできません。
応募料・出品料等は返金いたしません。
応募者はこの応募規定・注意事項を了承されたものとします。

【作品票の記入と貼付け方法】
1. 作品票には、題名、氏名を記入し、単・組別のいずれかにチェックを入れ、組についてのみ「__枚のうちNo. __」を記入してください。整理番号欄には記入しないでください。
2. 作品票の記入が終わったら、右図のように、作品の表面中央上部に「作品票」が出て、**題名、単・組別などの記入欄が見えるように、また、氏名は写真に隠れるように、**貼りしろ部分に必ず両面テープを使用して作品1枚毎に貼ってください。(写真の天地はこの票で確認します)。セロテープは糊がはみ出て、他の作品を汚す危険性が高いので避けてください。

